

小松崎 ふみよし

政策ジャーナル Journal



KOMATSUZAKI, FUMIYOSHI
2017

Vol.76

ごあいさつ

今予算議会では一般会計の予算規模が4000億円を超えました。これは教職員の所管が県から市に移管されたからです。今年度の決算から政令市最悪の財政状態は脱する見込みですが、必要な事業は推進し、必要性が低いものは改善を提言して参ります。

平成 29 第 1 回定例会一般質疑 平成 29 年 3 月 13 日

1 ことぶき大学校は定員を満たした方が、収益が良くなる。

質問 1) 現在と 7 年前を比して応募状況はどうか。

回答) 7 年前を比べ、定員に対し応募倍率は低い状況にある。(右下表)

ズバリ) 学費体系を 5 年が経過しニーズを再考する必要がある。

質問 2) 現行の 4 学科の授業料の算定根拠と算定額の推移は。

回答) 「公共施設使用料等設定基準」を参考に「福祉健康学科」は、公益性が期待されるので授業料を減額、「芸術系学科」は趣味的な要素が強いため、授業料を増額した。平成 23 年度予算の指定管理委託料から算出すると約 12 万 2 千円。28 年度は見込み額で、約 17 万 3 千円。講師単価に違いがなく教材費等は数千円から約 4 万円と実費負担なので、いずれの学科もほぼ同額の経費となる。

ズバリ) 合理化は進んでいない、人数が減少で単価が上がっている。学科ごとの調整幅が大きすぎる。

質問 3) 民間や公民館での同様の講座の授業料はどうなっているか。

回答) 千葉県生涯大学校は、地域活動学部が年間 15,400 円、園芸コースが年間 27,700 円、陶芸コースが年間 55,500 円。民間は美術関が 3 か月で 4 万円超、陶芸関連は 3 か月で 17,000 円程度。公民館では、主に美術や陶芸のサークル活動で授業料の徴収はなく、実費負担のみ。

ズバリ) 千葉市が見直したので県も参考にして見直した、と県職員から聞いた。陶芸は 68,000 円で民間と変わらない、民間と比較しても芸術系学科は公共施設を使っているのだから例えば 5 万円代中盤が妥当、再考すべき。

質問 4) 指定管理料の内訳は。

回答) 人件費が約 861 万円、講師報酬等事業費が約 1,432 万円、事務・広報費他が約 682 万円で、合計で約 2,975 万円。

ズバリ) 事務局費はあまり変わらないので、生徒数を増やせば、一人当たりの単価は下がる、欠員が 20 人いるがそれが埋まれば 120 万の増収。定員を 240 人にして定員全てを集めれば、現料金体系でも 50 人増えて 300 万円の増収になる。

質問 5) アンケートで 2 年制を望む声があるがどう捉えるか。

回答) 承知しているが学習成果の地域活動への還元や事業費削減を行い変更した、2 年制に戻すことは考えていない。

ズバリ) 芸術系の 1 年目の基礎講座の教員は卒業生に委ね、2 年目のみ教員養成・高度な技能習得希望者限定で、少し値段を上げて構わないので、現在の高スキルな教員が担当すれば経費はさほど変わらず、地域還元できる講師養成が出来る。



ことぶき大学校の応募状況（平成 21 年度から 28 年度まで）

年度		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
対象者		60歳以上		50歳以上(60歳未満は2割まで)						
修学期間		2年制			1年制					
福祉健康学科	定員	58	58	60	60	60	90	90	90	
	応募	82	86	79	90	75	78	102	91	
	倍率	1.37	1.43	1.32	1.50	1.25	0.87	1.13	1.01	
園芸学科	定員	30	30	60	60	60	60	60	60	
	応募	42	47	50	64	73	54	68	66	
	倍率	1.40	1.57	0.83	1.07	1.22	0.90	1.13	1.10	
陶芸学科	定員	60	60	60	60	60	30	30	30	
	応募	154	111	44	31	31	25	20	31	
	倍率	2.57	1.85	0.73	0.52	0.52	0.83	0.67	1.03	
美術学科	定員	60	60	60	60	60	30	30	30	
	応募	109	90	17	30	37	15	27	22	
	倍率	1.82	1.50	0.28	0.50	0.62	0.50	0.90	0.73	
全学科	定員	208	208	240	240	240	210	210	210	
	応募	387	334	190	215	216	172	217	210	
	倍率	1.86	1.61	0.79	0.90	0.90	0.82	1.03	1.00	

2 各地の道路整備について

質問1) 山王中学校付近から六方交差点までの区間はどのような道路拡幅整備内容になるのかまた、用地取得の進捗状況は。

回答) 事業区間は未整備の約 850M。現在の車線幅員 2.75M を 3.25M に拡幅し、両側の路肩に 1.5M の自転車走行空間を設け、2.50M の片側歩道を整備。現況幅員約 7M を 12M に拡幅。平成 27 年度から地権者と用地取得に向けて交渉、今年度末の用地取得率は約 17% の見込み。

ズバリ) 取得が出来た箇所から順次待避所・歩道として供用して欲しい。それで他の地権者や、地域住民への理解が広がる。

質問2) 県道浜野四街道長沼線・県道長沼船橋線と国道 16 号が交差する。長沼交差点は、県道に右折レーンがない、国道へ流入する右折車より、直進車が通り抜けられない状況。朝夕には渋滞が発生、長沼交差点の整備計画は。

回答) 今年度から、渋滞対策として右折レーン設置のため交差点改良の調査に着手した、相続されていない共有地や道路内民地が存在。境界の確定には、かなりの時間を要する。

ズバリ) 地域事情を考慮しつつも進めて欲しい。出来る箇所から進め、または信号の時間調整をお願いしたい。

質問3) 国道 16 号のあやめ台付近に商業施設がオープンする。渋滞が予想される国道 16 号の今後の改良予定はどこか。

回答) 国土交通省千葉国道事務所が、国道 16 号のジョイフル本田千葉店前の交差点の右折レーンの延伸を予定している。

ズバリ) 良かった。スポーツ大会時期の土日はスポーツセンターに入る車がひどく渋滞している。その穴川十字路寄りも右折レーンの延長を要望します。今後同交差点から穴川方面の信号あやめ台入口交差点の間隔が短い、スポーツセンター側に 1 車線増やすことも検討して欲しい。

質問4) 千葉市役所から最寄りのインターチェンジまでの所要時間は。

回答) 平日の午前頃の各 IC への所要時間は、東関道湾岸習志野 IC まで約 20 分、京葉道路松ヶ丘 IC まで約 15 分。

ズバリ) 距離は政令市平均、1 番時間が読める IC が湾岸習志野であり、千葉西署付近に IC を新設すべき。



⇒ ⇒ ⇒ 「この狭い道路では自転車も歩行者もかなり危険です、ガードレールにも無数の傷が…」



⇒ ⇒ ⇒ 「この交差点の右折レーンも延伸を要望します。スポーツセンター、混みますよね…」

3 アレルギーに関する食育の授業をアレルギーの無い子供にも行うべき

質問①) 5 年前と本年の小・中学校の喫食率の変遷はどうなっているか

回答) 5 年前の平成 23 年度は、小学校 92.7%、中学校 87.3% 28 年度 1 月末時点で、小学校 95.8%、中学校 87% です。

ズバリ) なかなか成果です。大阪では数年前約半分なんて時期もあったようです。

質問②) 2 年程前に大阪で学校給食の食べ残し対策としてふりかけを活用するべきとの話題が出たことがあったが、ご飯のみを食べて、バランスのとれたおかずを食べない、塩分の過剰摂取等が懸念されたが、ふりかけの使用を校長の裁量に委ねる通達を各市立中学校に出していた。大阪市のふりかけ活用の論争について、その後、どのようなになったのか、また本市における食べ残し対策の現状は。

回答) 本市では、栄養教諭等が、旬の食材をバランスよく提供、食育に関する情報提供を行っている。大阪市の中学校では、デリバリー方式から、学校調理給食に順次移行、食べ残しは著しく削減し、ふりかけ使用は、デリバリー給食の期間に限り認めている。

ズバリ) そうですね、私の記憶でも小学校の自校調理はおいしかったと記憶している。千葉市ではふりかけは必要ない。

質問③) 小学校・中学校でアレルギー対応の方向性はどのような違いがあるのか

回答) 全小学校が単独調理場で、アレルギー原因食完全除去食を提供。中学校では自己管理能力養成の為、アレルギー除去食は提供していない。食材の選定・献立作成時に、症状が重篤になりやすい「そば」「落花生」「キウイフルーツ」は使用せず、一日の献立に、同じアレルゲンを含む食材が入らないように配慮している。

ズバリ) 給食では千葉県民のソウルフードのみそピーが今では出ていない事は残念だが、地産地消を考慮しても出ないのは仕方がないと理解した。中学校での除去食の提供を唱えている方もいるが、世の中に出ると自身の判断が必要な場面が増える、むしろアレルギーを持っていない生徒を含めて食育の授業を充実させるべき。



⇒ ⇒ ⇒ 症状が重篤になりやすい「そば」「落花生」「キウイフルーツ」

小松崎ふみよし・プロフィール

事務所

昭和45年(1970)4月30日生まれ
 稲毛幼稚園卒業(現在、評議員)
 千葉市立山王小学校卒業
 千葉市立横橋中学校卒業
 千葉県立千葉北高等学校卒業
 (現在 同窓会副会長)
 法政大学法学部法律学科卒業
 (現在校友会千葉中央支部常任幹事)

職歴
 衆議院議員うすい日出男秘書 10 年
 公設第一秘書、事務所責任者を歴任
 千葉市議会議員(稲毛区選出) 3 期当選
 (6, 8 1 3 票でトップ当選)
 自民党千葉市連青年局長を歴任
 現在
 千葉市社会福祉協議会山王地区部会長

千葉市第 37 地区町内自治会連絡協議会顧問(山王中学校区)
 千葉市少年軟式野球協会顧問
 稲毛区少年軟式野球連盟顧問
 千葉市アーチェリー協会会長
 千葉県美容業生活衛生同業組合
 千葉支部顧問

〒263-0002 千葉市稲毛区山王町 112-1
 電話: 043-424-0001 FAX: 043-421-6667
 E-mail: info@2344.jp
 事務所開設時間【月・水】10:00-12:00
 【水】13:00-16:00
 (不在時は小松崎本人の携帯に転送)
 お問い合わせ・ご意見お待ちしております。